

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【269】
2. 日時：令和2年7月22日 10時00分～12時00分
14時00分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全管理調査官、江崎企画調査官、植木主任安全審査官、
岸野主任安全審査官、津金主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、
三浦主任安全審査官、小野安全審査専門職、服部安全審査専門職、
山浦技術参与

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社 原子力設備管理部長 他24名※

5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書及び津波への配慮について、令和2年7月15日、7月20日及び7月22日提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【スクリーン室、取水路、補機冷却用海水取水路の耐震安全性評価】

- 地震応答解析の条件（内水位の設定、入力地震動等）を詳細に説明すること。
- 水平2方向の地震力等の荷重の組合せの考え方を説明すること。
- せん断力に対する照査値が0.98となる位置及び値が大きくなる理由を説明すること。

【水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する検討について（屋外重要土木構造物：抜粋）】

- 鉄筋の応力照査の扱いについて、強軸方向の面内せん断力をコンクリートだけで負担できない場合に実施することを評価フローにおいて説明すること。

【津波による荷重等について】

- 荒浜側防潮堤内敷地について、浸水深50cmで漂流開始とする根拠を説

明すること。

- 基準津波 1 の防波堤なしのケースにおける発電所から東側 1.5km 地点の漂流物について、軌跡解析の結果を踏まえ発電所に近づく時間帯の流向及び流速の経時変化の考察を説明すること。

【工事計画認可申請に係る論点整理について】

- 床スラブの面内せん断応力度の分布状況及び平均値の内容について説明すること。
- 床スラブのコンクリート強度による評価結果への影響について、影響検討の検定一覧に設計における荷重組合せケース No. 3-6 の照査結果を合わせて説明すること。
- 解析モデルの境界条件や載荷方法について説明すること。
- 床スラブのモデル化の妥当性について、既工認時において床スラブと外壁をモデル化した FEM モデルにより確認した結果を説明すること。
- 解析結果の変形図及び半径方向の変位の算定方法について説明すること。
- 床スラブのコンクリート強度並びに補助壁及び外壁の拘束効果が床スラブの剛性に与える影響を比較した上で、これらの影響が R C C V の評価結果に与える影響を考察し説明すること。

【廃棄物処理建屋の地震応答計算書に関する補足説明資料】

- 衝撃力を算定する際の単位時間の考え方について説明すること。

【設計及び工事計画認可申請に係る論点整理について】

- 建屋連成系解析モデルで評価する機器・配管系に対する隣接建屋の影響に関する検討について、隣接応答倍率を考慮した評価結果を説明すること。
- 隣接建屋の影響に関する機器・配管系への詳細評価結果について、対象設備の固有周期に用いている隣接応答倍率は一律値、固有周期ごと等がわかるように整理して説明すること。

【タービン建屋の地震応答計算書に関する補足説明資料】

- 相対変位及び相対速度の評価について、建屋と T / G 架台の標高の差をどのように考慮しているか説明すること。
- 建屋の柱部材の健全性評価について、許容している状態、解析結果における衝突部位の状態が明確になるように、方針及び結果の考察を説明すること。

【原子炉建屋の耐震性についての計算書に関する補足説明資料】

- エクspansionジョイントのNS方向の伸縮量の試験結果を説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

なし